

2017年秋期(第161回)講演大会記録

2017年秋期講演大会は、9月6日から8日の期間、北海道大学において開催した。

- 9月6日(9:00~9:40) 開会の辞、各賞贈呈式(工学部オープンホール)
- (10:00~17:00) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション、企画シンポジウム(工学部、情報科学研究科棟 22会場)
- (12:30~17:00) ポスターセッション(フロンティア応用科学研究棟)
- (18:00~20:00) 懇親会(キリンビール園本館中島公園店)
- 9月7日(9:00~17:30) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション、企画シンポジウム(工学部、情報科学研究科棟 23会場)
- 9月8日(9:00~16:20) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(工学部、情報科学研究科棟 21会場)
- 9月6日~9月8日 総合受付(工学部1階ロビー)
付設機器・カタログ展示会(工学部1階ロビー)
World Materials Day Award 展示(工学部1階ロビー)

開会の辞(9月6日)

三浦誠司実行委員長より開会の挨拶があった。



三浦実行委員長の挨拶。

中島会長の挨拶ならびに今後のビジョンの発表。

贈呈式(9月6日)

中島英治会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。

第15回学術貢献賞贈呈式 10名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌627頁)

第40回技術開発賞贈呈式 7件34名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌629頁)

第15回功労賞贈呈式 3名(学術部門2名, 技術部門1名)に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌632頁)

第27回奨励賞贈呈式 7名(物性部門1名, 組織部門1名, 力学特性部門1名, 材料化学部門1名, 材料プロセッシング部門1名, 工業材料部門2名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌633頁)

第7回まてりあ論文賞 2編2名

第7回まてりあ啓発・教育賞 1編1名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌635頁)

第14回村上記念賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌636頁)

第14回村上奨励賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞金贈呈。(受賞者; 本誌636頁)

第65回論文賞贈呈式 5編18名(組織部門1編, 力学特性1編, 材料化学部門1編, 材料プロセッシング部門1編, 工業材料部門1編)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌637頁)

第27回若手講演論文賞贈呈式 3編3名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌639頁)



~受賞者の皆様おめでとうございます。~

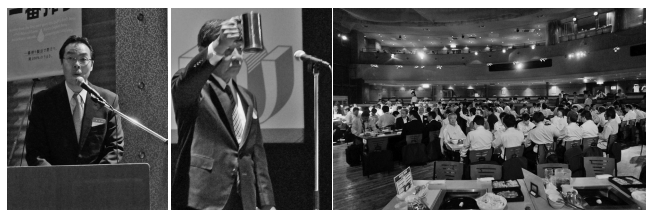
日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会(9月6日)

日時: 9月6日(水)18時00分~20時00分

場所: キリンビール園本館中島公園店(札幌市中央区南10条西1-1-60)

参加者: 267名(本会への申込者・招待者198名)

司会 北海道大学教授 上田幹人
開会の辞・大会実行委員長挨拶 北海道大学教授 三浦誠司
日本鉄鋼協会会長挨拶 JFE スチール㈱副社長 丹村洋一
日本金属学会会長挨拶・乾杯 京都大学名誉教授 中島英治
閉会の辞 北海道大学教授 松浦清隆



司会: 上田先生。会長による乾杯。

キリンビール園にて。

大会参加者

1,618名(一般762名 学生606名 非会員149名(一般87名 学生62名), 相互聴講101名)

学術講演会(9月6日~8日)

最終講演件数 1,133件

欠講6件(講演番号: 一般講演 No.162, 456, 541 ポスターセッション No.P23 P53, P190)

公募シンポジウム講演9テーマ249題(奨励賞受賞講演1題, 学術貢献賞受賞講演1題, 村上奨励賞受賞講演2題, 基調講演57題含む)

KIM-JIM シンポジウム 17題

企画シンポジウム 13題(科学研究費補助金申請勉強会・日本金属学会創立80周年記念シンポジウム)

一般講演549題(奨励賞受賞講演5題, 技術開発賞受賞講演7題, 功労賞受賞講演2題, 学術貢献賞受賞講演8題, 村上奨励賞受賞講演2題, 村上記念賞受賞講演1題含む)

共同セッション46題

ポスターセッション259題

講演会場 24会場(A~V会場, 企画シンポジウム会場, ポスターセッション会場)

第29回ポスターセッション(9月6日)

9月6日12:30~17:00の時間にフロンティア応用科学研究棟の2フロアで259件のポスター発表が行われ、そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている226件の内容・発表について審査が行われた。過去最多のポスター発表件数であった。

発表は二部構成で行い、多くの聴講者が来場し、ポスターセッション会場は大変盛況であった。

翌7日「優秀ポスター賞」46名が決定し、受賞者を本会ホームページにおよび総合受付に掲載した。(受賞者;本誌640頁)



熱気あふれるポスター発表。熱い議論が続きました。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」29題(金属19題, 鉄鋼10題)は9月6日~8日に金属学会 Q 会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」10題(金属7題, 鉄鋼3題)は9月8日に金属学会 N 会場で開催した。

「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」40題(金属20題, 鉄鋼20題)は9月6日~8日に鉄鋼協会第18会場で開催した。

付設機器・カタログ等展示会(第42回)

機器展示17社, カタログ展示2社から出展の協力を得た。各社のご好意に感謝いたします。

第4回企業ランチョンセミナー(9月7日)

昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら、講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく、ランチョンセミナーを開催した。以下の5社が各5会場で30分程度のセミナーを行い、参加者数は5社で合計189名であった。

参加者および参加企業共に好評であった。

(参加企業・団体:参加数)

㈱TSL ソリューションズ: 50名

オックスフォード・インストゥルメンツ㈱: 31名

日本テクノプラス㈱: 27名

名古屋大学未来材料システム研究所超高压電子顕微鏡施設: 43名

物質・材料研究機構材料データプラットフォームセンター: 38名

託児室

9月6日(木)に子供2名, 7日(金)子供1名に対してシッター1名体制のもと支障なく終了した。

第15回 World Materials Day Award

材料系国際学協会連携組織である IOMMMS(International Organization of Materials, Metals and Minerals Societies)では、World Materials Day を制定し、本年は2017年11月1日(水)に世界同時に、「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰している。日本金属学会では、次の方が授賞し、IOMMMS には World Materials Day Award Winner を推薦した。

第15回日本金属学会 World Materials Day Award 受賞者

(本誌: 643頁)

Winner(優秀賞)第3部門 1件

「体感! マグネシウム合金」

北海道科学大学 山田小夏君

第2部門賞(2件)

「愛知教育大学技術科の大学祭での取り組み「ものづくり教室を紹介します」」

愛知教育大学 大島幹央君, 伊藤拓己君

「人力飛行機における CFRP の利用」

北海道大学工学部同好会“Northern Wings” 山家椋太君

北工会鳥人間研究会メンバー

〔大会雑記〕

北海道大学での講演大会は2010年(平成22年)以来7年ぶりの開催であった。大会初日から晴天が続き、爽やかな初秋の空の下、講演大会が開催された。北海道での開催は人気が高く、講演件数は2012年以降最も多かった。また来場者も前年を上回り、盛会裡に終了した。

本会の講演は工学部と情報科学研究科棟の23会場で開催した。また、ポスターセッションはフロンティア応用科学研究棟にて行われた。

懇親会は麒麟ビール園で行われ、従来の懇親会の立食スタイルとは違い、テーブル席でジンギスカンを楽しみながら、参加者は歓談に花を咲かせていた。

北海道大学での金属学会講演大会開催に当たって、三浦誠司実行委員長および鈴木亮輔実行委員幹事をはじめとする実行委員・幹事の皆様には準備当初より長期にわたり、大変なご努力とご配慮を頂き、そのご尽力により大会を盛会裡に運営することができました。お忙しい中を本会のために長期間を割き、諸般について万端のご協力を頂いた実行委員の方々はじめアルバイト学生の皆様、大学関係者各位に対しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。



次回春の講演大会は
千葉工業大学(新習志野)キャンパスです。

9月9日: 日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画委員会 10周年記念シンポジウム 「企業・大学での女性活用とダイバーシティ推進を考える」

講演大会の翌日に、男女共同参画委員会による委員会設立10周年シンポジウムを同大学を会場に市民参加型として行い、盛会裡に終了した。(演題3題)



(講師)

- ・北大 長谷山美紀氏
- ・JFE スチール㈱ 近藤達也氏
- ・カルビー㈱ 新谷英子氏

